

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てる前に電源を入れないでください。
- 照明器具の取付け及び修理は、必ず電気工事店等の専門家にご依頼ください。

#### 注意

照明器具を箱から取り出す際に、ペーパーシェードを傷つけないよう十分気をつけてください。本体を止めているストッパーを取り除き、本体を取り出してください。

組み立て終わるまで電源に接続しないでください。

## Wo-Tum-Bu 3

---

デザイン：Dagmer Mombach  
Ingo Maurer and team

光源：ローボルトハロゲン球 12V-50W (GY6.35)  
トランス：調光器付電子トランス

インゴマウラー 日本総代理店

**StudioNOI**  
スタジオノイ株式会社

東京都港区南青山3-10-7  
青山ホワイトテラス 〒107-0062  
Tel.03-3401-4826 Fax.03-5775-1675

[www.studio-noi.com](http://www.studio-noi.com)



Wo-Tum-Bu 3

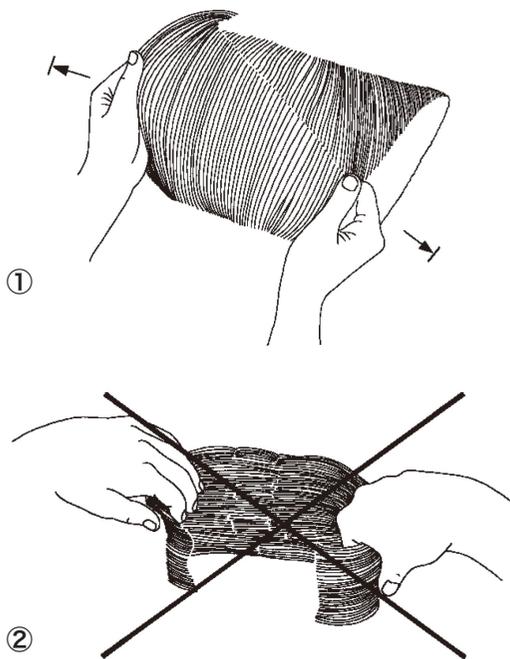
## ＜ペーパーシェードについて＞

器具の和紙は天然の素材で作られたもので、まれに見られる表面のキズは、製造過程で生じたものです。ペーパーシェードは、伝統的な日本の織物の染色法に基づき(最高8段階の処理工程を要する)、その加工法は特許を取得しています。一見同じに見えても、実際にはひとつひとつ微妙に異なっています。

ペーパーを美しく保つには、次のような点にご注意ください。

- 湿気のある所での使用は避けてください。浴室、台所、その他湿気のある室内では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や乾燥しすぎる場所での使用は避けてください。
- ペーパーシェードは傷つきやすいですが、必要があればそっと引っ張り伸ばすことができます(図①)。ペーパーを伸ばしすぎないでください。伸縮性が失われ、元の形に戻すことができなくなります。
- 「誤った」方向(折り目と反対の方向)にペーパーを折りたたまないようにしてください。繊維をいためることになります(図②)。

場合によっては、シェードが理想的な形になるまでしばらく時間がかかることがあります。表面に触れるとへこみがでることがありますが、裏側から指でそっと押すと、へこみが消えて元通りになります。



## ＜電球とガラス筒の取り付け＞

### ⚠ 注意

素手で電球に触らないでください。器具は必ずガラス筒を取り付けてからご使用ください。ガラス筒なしで使用すると、ペーパーシェードが過熱し火災の原因となることがあります。

電球をソケットに取り付け、ソケット脇の台座クリップにガラス筒を取り付けます。ガラス筒が所定の位置に取り付けられていることを確認してください(図③)。ワイヤーケージの中央にソケットが取り付けられていることを確認してください。

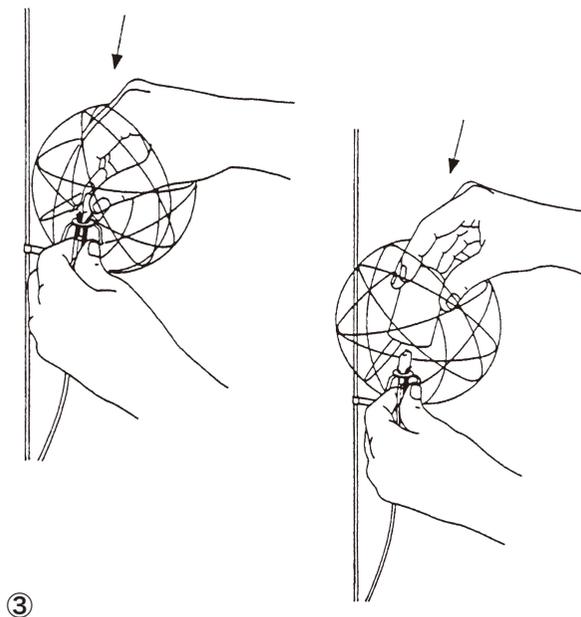
## ＜シェードの取り付け＞

傷つけないよう気をつけながらシェードを開梱します。

シェードには対角線上に一箇所ずつ穴が開いています。延長ロッドの先端についたフック(2)に一方の穴を通し、しっかり固定します(図④)。もう一方の穴を軽く持ってゆっくり下に伸ばし、下のフック(3)に穴を掛けます(図⑤)。

### ⚠ 重要

ソケットがワイヤーケージの中央の正しい位置にあることを確認してください。シェードがソケットや電球に触れないように注意してください。シェードの両端が内側に入るのではなく、図⑥のようにしてください



## ＜トランスへの接続＞

本体に付いているコードのコネクターをトランスに差し込みます。コネクターが正しく接続されていることを確認してください。

## ＜電球の交換＞

### ⚠ 注意

電源を切り、完全に器具が冷めてから行ってください。電球は素手で触らないでください。

ペーパーシェードをフックから外し、片手でソケットを持ちながら、もう片方の手でガラス筒を外します。電球を交換し、ガラス筒を戻します。ガラス筒と電球が正しい位置にあることを確認してください(図③)。

## ＜クリーニング＞

### ⚠ 重要

シェードのお手入れには、必要に応じて軽い毛はたきや絵筆を使用してください。濡れた布やスポンジ等は絶対に使用しないでください。金属部分は乾いた布で拭いてください。

